

日本に到着！

2007.09.05

昨日日本に到着しました。東京成田空港から「出発！」とスタートし、それから午後はずっと東京を観光しました。自分の目で日本、東京を見ることが実現して、嬉しかった（^_^）今は日中交流センターに泊まり、数日後、これから通う学校へ行ってきます。楽しみです！
これは日本語で投稿されたものです

2007.10.05

ここに日記を書き始めるのが沖縄に来てから1ヶ月もたったあとになってしまった。みんなにいちばん伝えたいことは、ここでの生活を楽しんでいるということ。想像以上にずっと楽しくて、日記を書く暇がなかったくらい。これから「時系列順」にこの1ヶ月の生活をまとめてみることにしよう。沖縄に到着 沖縄にやってきたときの気持ちは、今もはっきり覚えている。東京から空路で沖縄に来るときに僕に付き添ってくれた向陽高校の仲吉先生は、フレンドリーで、あと沖縄の人ならではの情熱を持った人。途中、たくさん話をした。今後1年間、彼や他の先生にはいろいろお世話になるわけだから、僕のことをもっと知ってもらおうと思って。那覇国際空港に到着したときには、もう日が暮れていた。仲吉先生の車で学校へ向かう間、外を眺めていた。はじめて沖縄の美しい風景やのんびりした生活を目にした。僕も1年後には彼らようになるんだらうなと思うと晴れやかな気持ちになった。学校の寮で僕を出迎えてくれたのは、活発で親切な仲間たちで、その中には今も同じクラスの人もたくさんいる。ああ、彼らはほんとによくしゃべって、夜中までずっと僕の部屋にいた。まさか沖縄ではじめての就寝が夜中の2時になるとは！ああ、そうだ、まだある。この日の夜、僕は富山の親友、山田くんが送ってくれたプレゼントを受け取った。メッセージもあって、「僕たち一家は富山で詩揚を応援しています！」だって。感動して泣きそうになった。勉強が始まった 意外なことに朝僕を呼んでくれる人がいない。まあいいけど。服を着替えて、8時ちょうどに前日先生と待ち合わせの約束をしたところ、事務室に行った。クラス主任の玉城先生に朝のあいさつをして、一緒に僕のクラス2年2組に行った。ドアの前に着いて、先生が先に入り、僕も、ドラマで見たのを真似して深呼吸してから入った。それから自己紹介をした。もうすでに知っている顔もたくさん見えたのでちょっと緊張がほぐれた。それから用意してきたプレゼントを先生とクラスメートを渡して、自分の席に着いた。その後、この日は僕はクラスメートたちと一緒に授業を受けず、クラス主任の先生について大城浩校長先生に会って、他にもこの学校のほとんど全部の先生にあいさつをした。最語に職員室のそばの部屋でもらったばかりの教科書を読んだ。ウー先生について ウー先生は向陽高校の中国語の先生で、今後は僕の主な責任者の一人でもある。ウー先生は上海人で、お父さんは有名な建築家、上海には先生のお父さんが設計したビルが3つあるそうだ。先生は大学を卒業したあと、日本に来て京都大学の研究生になった。こんな優れた先生がどうして沖縄に来て中国語を教えているのか不思議だ。人それぞれ考えがちがうものだなあ！ その次の一週間で、僕はすっかりまわりのクラスメートと仲良くなった。毎朝太一と一緒に学校へ行って、教室に着いたらかすかたの「おはよう、シーヤン！」という声がする。毎日の数学の授業では、隣の席のさとと数学の問題について話し合う。放課後は教室でクラスメートたちと一緒に運動会の応援のダンスの練習をする。寮に帰ると、いつもふろどやあつくが僕の部屋に遊びにくる。寮の中で寮生たちに会うと、会釈する。最近いつも中国語のコンテストの準備のために3年の先輩たちが中国語を習いに僕のところへやってくる。ああ、朝から晩までめちゃくちゃ忙しい！ 沖縄でTOEFLが受けられる 沖縄でTOEFLやiBTが受けられる、これはすごくいい！ この日の午前中、僕は全校生徒の前で自己紹介のスピーチをしたあと、玉城先生に呼ばれて職員室に行った。先生は沖縄で受けるTOEFLについて簡単に紹介してくれて、僕のためにTOEFLのパンフレットをもらってくれて、すごく感動した。でも僕は両親と相談してみて、やっぱり来年受けることにした。その前にやるのがたくさんあるから。でもとにかくうれしかった。この日の午後、体育の授業は体育館でバドミントンをして、そのあとウー先生にばったり会った。先生は、この週末は3連休（来週の月曜日が敬老の日なので）なので僕のホームステイの手配をしてくれたと言った。学校の規定で僕は月に一度は家庭訪問することになっているから。今回のホームステイ先はゆうまという生徒の家で、僕のクラスじゃないので話したこともないのでやっぱりちょっと緊張した！ はじめてのホームステイ あつという間に、僕ははじめてのホームステイ先、ゆうまの家に行った。この家の人たちはみんないい人で、僕と気が合った。一日目は100円ショップに行って、生活用品を少し買った。それから家族は僕を那覇の知名園に連れていってくれた。知名園は古代の琉球王国の庭園で、何年前、首里城とともに世界遺産登録された。肩書きはこんなふうに多いけど、僕はやっぱりたいしたことはないと思った。それより、中国の故宮や頤和園のほうがずっといい。でもとにかく、彼らの琉球文化をけなしてはいけない。ゆうまは流行に敏感な男の子で、台湾のJayが好きだ。でも残念なことに、僕があげたプレゼントはJayのCDじゃない。でも埋め合わせに、Jayのいい歌をたくさん紹介した。二日目、午前中、ゆうまはテストがあった。僕は彼の家で12時まで寝ていた。午後、学校の友だちと焼肉を食べに出かけた。おなかいっぱい食べてから、そばのJuscoの中をぶらぶらして、またみんなでプリクラを撮った。こんなにすぐ友だちになれて、プリクラまで撮れるなんてうれしい。この日の夜、寝る前、ゆうまは真剣な顔で、今日は詩陽のおかげで楽しかったと言ったので、僕も負けずに、自分もゆうまのおかげで楽しかったと言いつつ彼は笑った。三日目、帰るとき、少し名残惜しかった。彼のお母さんは、遠慮しないで時間があるときはぜひ遊びに来てねと言ってきて、僕はきっと来ますといった。ひさしぶりの100点！ 今週、学校に戻って、他のクラスメートとともに数学のテストを受けた。難しくはないけど、簡単というほどでもない。二日目、数学の授業で先生が総括をして（この点は中国と似てる！）、今回のテストで満点の生徒が一人いると言ったとき、クラスのみんなは驚いて、でも一斉に僕のほうを見た。それもそのはずで、今回のテストで彼らの最高点は65点で、僕はこの前も同じだと思って、それで彼らは僕だけ満点が取れたと思った。まあ、とにかく、僕が前に100点を取ったのはたぶん中学のときだから、うれしかった。でも、だからといっていい気にならないで、これからがんばろう！ 2回目のホームステイ すごく嬉しいことに、クラスメートが家に招待してくれた。今回は前回とちがって、たいちという同じクラスの友だちが進んで招待してくれたもので、学校の手配ではない。でも心配だったのは、僕はそのときちょうど風邪をひいているときで、彼の家族に移らないだろうかといいことだった。でも彼らの家族は親切で、僕はすごく感動した。僕がマスクをしようとするのを止めただけじゃなくて、高そうな薬を飲ませてくれて、家族が病気になるときはこれを飲んだと教えてくれた。本当に感動した！ 二日目の午前中、他の友だち数人とボーリングをしに行った。風邪であんまり力が出なかったけど、なんとか大丈夫だった。午後は彼らの家族と沖縄でとても有名な「美ら海水族館」に行った。たいちから、ここは世界で最も美しい水族館ベスト5に入っていると聞いてすごく嬉しかった。評判どおり、館内はきれいで、しかも世界で一番大きい水槽があって、中には魚がすごくいっぱいいて、鯨までいた。予想外だったのは、たいちのお父さんはすごく積極的に、僕が記念に写真を撮るように僕のカメラをつついて言ってくれたので感激した！ 今回のホームステイにはタイミングのよかったことがあって、それはたいちの妹のみかの誕生日だったこと。夜、僕たちは彼女のためにパーティを開いて、僕は今まで食べたことがないくらいおいしいケーキを食べた。ほんとにうれしかった！ 運動会 ホームステイから帰ってきた週の水曜日は学校の運動会だった。僕は2組の応援団の出し物以外にもうひとつある。それは障害物リレーで、僕が参加するのは4人5脚のところ。これはこれはよくテレビで見るやつで、何人かの足と足を一緒に縛って、一緒に走るというもの。僕が思うに、クラスメートたちがこれを僕に参加させるのは何か意図があるんじゃないかな！ 僕がこれをやるのははじめてだったけど、思いがけず1位になって、今まで中国で取ったことのない1位をとうとう経験した！ イギリス人のディビッド うちの学校には外国人教師がいて、とっくに知ってはいたけど、ディビッドと話したのははじめてだった。今日昼食を食べた後、ディビッドのところへ行った。顔を合わせたことはあるのでもまったく知らないというわけではなかった。僕は自分から彼にあいさつをした。彼もとても親切だった。彼とたくさん話したけど、英語が以前ほど流暢に話せなくなったように思った。最近はずっと日本語ばかりだからだな！ 彼は気にしなくてもいい、わかるよと言ってきて、僕と友だちになりたいと言ってくれた。僕がTOEFLの準備ををしているところだというと、手助けしたいと言ってくれた。ああ、また外国人の友だちが増えた！ 嬉しいな！ 校長先生との昼食 前日、校長先生とばったり会った。明日一緒に昼食を食べて、最近の勉強や生活のことを話すように言った。今日校長室のドアの前に行くと、やっぱりちょっと緊張した。でも校長先生のとりに座ったらリラックスできた。楽しく話をして、僕はここのこと楽しく過ごしていると言った。もちろん学科の問題も相談した。というのは今僕は国際文科クラスにいるんだけど、中国では理科の学生だったから。先生は大丈夫、次の学期は理数クラスに変えるからと言った。今の国際文科クラスの理科課程のペースも遅くはないけど、国際留学生として中国語クラスを受けなければならぬので、課程が少なく、そのほかのほとんどが普通課程で、でも理科の学生の僕としては、やっぱり理数クラスに行くのがいいと思う。実力テストと県民大会 今週末はまだゆうまの家に行った。その理由は今週末にある県民大会に参加してみたいから。土曜日の午前中は実力テストなので、気分よく行けるようにいい成績を取らなければ！ 午後、ゆうまの家族と一緒に県民大会に参加した。うわ、人が多いと思ったら、後で新聞に11万人とあった。そのときはたくさんさんのメディアが来て報道していた。今回の県民大会は教科書改訂についてで、僕は内容には興味はなくて、ただそれにぎわいぶりに気をとられていた。あと、県民大会は宜野湾で開催されて、そばには沖縄の美しい砂浜があったので写真を撮った。その前の何日か、太一と話していて、彼は沖縄のホームページ制作の大会に参加したいと言って、僕もそういうことに興味があるし、学校でプログラミングを習ったことがあるので、一緒に作るのはどうかなと言ったら喜んで承知した。彼は、一等の賞品はノートパソコンだからがんばろう！ とも言った。今僕たちはその準備中…。部活動 部活動について話そう。最初は去年と同じくバスケットに入った。あとからやっぱり文系に入りたくて書道にした。理由は小さいころ何年か習ったことがあるからだけど、ちょっとひさしぶりだ。でも書道部の人たちはみんな親切で、それによく知っている人だちばかりなので本当によかった。それにそこで日本の書道のことでも理解できるし。書道部の先生は沖縄で有名な書道家が教えるに来てくれるのですごく楽しみ！ MUNシミュレーション連合会 中国にいたとき、うちの学校にはMUNがあったんだけど、そのときは参加する時間がなかった。今回、日本でやってみよう。中国と同じく、MUN大会ではすべて英語で交流する。MUNの組織の先生はあのイギリス人のディビッド。僕はアメリカの大使ということになって嬉しい。今日のお昼に去年のMUN大会の録画を見た。すごく本格的で、沖縄国際会議室で開催されたんだけど、今回もそうで、あと他の学校からもたくさん参加する。日程は11月10日、11日、今は資料を準備しているところ。ああ忙しい、がんばらないと！ こんなふうに、沖縄での最初の1ヶ月が過ぎた。いちばん強い感想は、すごく忙しいということ。全然暇な時間がなくて、日記も何日もたつてからやっと書き終わるくらい。でもこの人たちはみんな僕にとってもよくしてくれる。先生も学校の仲間も。今日は物理の授業のあと、

物理の先生が日本の高校入試の物理問題集を貸してくれて、僕にやってみるように言った。それに、将来日本の大学を受けるんだったら力を貸してくれるとも言ってくれた。ほんとうにありがたい！ でも不思議なのは、どうしてみんな、僕が東京大学を受けたいとひそかに思っていることを知ってるんだろ？ でもこうなったからには、いい成績を取って彼らに見せられるようにがんばろう！

やばいぜえ！

2007.10.05

突然にボクは日本語で日記を書きたい、だから、行こうぜ！ 沖縄に着てから、友達からたくさんの方言と若者の言葉を習った。たとえば、「グリーンだよ、いいんだよ！」これは一つビールのCMの中で出た言葉だ、意味は「冗談だ！」。ずいぶん人気があるよ。 もう一つは「ホンマ！」。これは大阪弁で、「本当だ」、「マジ！」の意味だ。ボクはこの言葉、大好きだ！ 「どんだけえ?!」はちょっと古いけど、今は学校で流行ってる。「もちっ！」は「もちろん！」の省略だ。ボクは「野ブタ。をプロデュース」というドラマを見て、わかった。 沖縄の方言について、「イチャリバチョーデー」という言葉は先生から習った。これは先生大好きな言葉だ。意味は「一度会えば一生兄弟だ」。おもしろいね！ 最近の日本は何人の芸能人はちゃんと人気だ。たとえば、沖縄出身の小島よしおさんはそんな一人だ。彼の名言は「そんなの関係ねえ！」や「おぼっぴー」とか、若者の中でも人気になってる。 だけど、そんな言葉は全部汚い日本語だから、興味でちょっと分かったら大丈夫だけど、もしたくさん習ったら、やばいじゃん？ これは日本語で投稿されたものです

留学生フォーラム

2007.10.05

今月の13日、年に一度の留学生フォーラムがうちの学校で開催される。そこでは、これまで留学したことのある沖縄の学生たちが体験談を話す。僕も中国からの留学生としてスピーチをする。内容は中国の高校生の学校生活についてなんだけど、僕たちの学習時間についてはあまり強調しないつもり。みんなをびくりさせるだろうから。勉強以外の活動のことをたくさん話したほうがいいな。もちろん今、時間を切り詰めて大雑把な原稿とPPTファイルを用意しているところ。当日、スピーチの後、僕はちょっとしたクイズも出すことになっている。「中国の国旗の、一番大きい星は何を表しているでしょう？」とかそういう問題。すごくおもしろい！ただ、調べてみると、この問題はウー先生ですらはっきり答えられなかったから、外国人はなおさらだよな！でも、このことはなるべく早く解決できるはず。引き続きがんばろう！

この2ヶ月

2007.12.10

カレンダーを見てみたら、ずいぶん長い間日記を書いていなかった。この2ヶ月、以前と同じく、多くの出来事があった。例えば活動面では、沢山のことに参加した。留学生フォーラムのようなもの、中国発表大会、国連をまねたイベント。この中で、僕が印象深かったには、国連MUNでした。国内にいた時、学校で似たような活動があったのだけど、あの頃実験室で色々忙しく残念なことに参加できませんでした。こちらに来てから、国連の活動に似たものがあると知った、それもかなり専門的な活動らしい。だから参加した。向陽高校はこの方面にはかなりの実力があり、以前は2人の学生代表が、日本を代表してニューヨークで開催された全米高校生国連会に参加したそう。資料の準備段階から正式の会議参加まで、かなり心血を注ぎ大変だった。でもその中から得られたものは大きい。例えば今度のテーマは気候の変動と温室ガス効果で、その間1日中、関連する英語の単語と文章と格闘した。英語が進歩しないはずがない。これは僕にとっても大きなものであった！もしトータルの中でできたら、もちろんゲットになるはずだ！会議の当日はとても正式なものだった。まず会場はとても格式が高い、参加した学生はきちんとスーツを着ている。僕はスーツを持ってないから、学校の先生から借りた。結果ひどいことになった。会議はとてもスムーズにいったよ。僕はアメリカの大使を担当したから、とても活躍した。先生や友達から誉められた。このような活動は、みんなと一緒に苦勞しながらの準備から最後のすばらしい展開まで、すべて僕の記憶にしっかり残っている、それはじっくりかみしめるに値する経験だ。この2ヶ月来、同じような変化があった。バスケットボール部から卓球の部に変わったのだ。なぜならバスケットボール部の練習場が結構遠くて僕は行くことができないからだ。卓球の部はとても良い、毎日学校が引けてから、友達と一緒に練習している。それとこの数日、ルームメイトと少しいざこざがあった。僕はいつも人のためを考えているが、彼は人の立場に立って物事を考えようとはしない。傷つけられる事や、やり過ぎだと思う事がある。だから、毎日放課後は食堂で自習したり、部屋で、Mongol800の歌を聞いていたりして、ほとんど話をしなかった。でもまあいい、来年度が変わるはずだから。このせいだろうか、最近homesickにかかっているようだ。いずれこの段階前でも、誰でもホームシックになるものだから。お母さんが言っていたように、留学生活は苦勞が多く、困難に満ちている。でも、数日前に交流センターの山崎先生から電話があり、気持ちはいづれか良くなった。ふり返り考えてみると、あの比較的の嫌な人以外は、沢山の人が僕に関心を持ち、見守ってくれている。試験に関しては、この2ヶ月の間に中間試験と期末試験を経験した、上手くいったと思う。それから、今月3日は母の誕生日だった。お母さんに電話をかけて、電話のプレゼントをするつもりだった。でも日にちを間違えて、原因は私の腕時計が11月を31日だと計算して、だから一日遅れてしまった。でも母は、分かっているって言ってくれた。ここ数日、僕の日本語のレベルがとても進歩しているように感じる。友達は今では僕のことを外国人だと思わないで接してくれている。（ずっとみんなと一緒に過ごしているから）なんとその中の一人は、僕の国籍はを日本になったと思っている、ちょっと落ち込んだけど。いずれにしても、最近とても充実している。だから次の段階の目標を持つと思う。例えば、再来週には全校生徒前での講演や今月末には中日カラオケ大会がある。また、予定通りだと、来年3月には北海道に修学旅行に行きます。がんばろう！